

# 北海道石狩郡新篠津村方言の否定の表現

江端 義夫

## I. はじめに

1. 調査対象地：新篠津村は北海道の中央西部を流れる石狩川が石狩平野と落ち合う中流域に位置し、全村見渡す限りの田園穀倉地帯である。東は空知郡北村、南は江別市西は石狩郡当別町、北は樺戸郡月形町に接している。人口は3914人（平成6年3月31日）であり、1231世帯のうち、63.1%の1368人が第一次産業に従事する。一世帯10haの田畑を持つ専業農家が少なくない（平成2年10月1日の国勢調査による）。かつては4800人もの人口があったが、しだいに減少してきている（『全国市町村要覧 種6種』による）。
2. 調査年月日： 1994年10月7日 午前10時～12時10分
3. 話者： 東出はな 大正14年2月17日生（68歳）。先代が石川県から新篠津村に移住した。同席者：東出与次郎（話者の夫）、金兵克子（同村教育委員会）
4. 調査者： 江端 義夫、話者宅
5. 調査方法： 統一調査票による質問調査
6. その他：①発話をカタカナで表記する。②アクセントは棒引きで表す。③話者による解説や同席者の説明は（ ）で記す。< >は執筆者の気づきや解釈を記す。④できるだけ文例全体をとらえようとしたが、十分には叶わなかった。⑤老若男女を尽くして新篠津村での否定表現の諸相を把握したかったが、補充調査に赴くことが出来なかった。本稿は中間報告の域に留まる。

## II. 調査結果

1. 行かない ○キョーワ アメ フリソーダカラ イカナイ ワー。
2. 降らない ○キョー アメ ファンナイ ネー。
3. 行きません ○キョー イカナイ ワ。 (これ以上の丁寧な言い方はしない。)
4. 行きはしない ①ドッコイモ イカナイ ワー。 / ②キョー イカナイ ワー。 / ③（「行きはしない」の「は」を使わないで、次のような卓立の音調で表す。）キョー イカナイ ワー。
5. いらっしゃらない ○イカナイ。 (先生と接しないから敬語を使わない。)
6. 行かなかった ○キョーワ デカケンカッタ ヨー。
7. 行きはしなかった ○キョーワ イカナカッタ ヨー。 (「行きはしなかった」の「は」を言わない。)
8. 行くまい 言わない。
9. 出まい 言わない。(○キョーワ イカナイ ヨ。)
10. すまい ①ナンニモ シナイ ツモリダ ヨー。 / ②アメガ フルカラ キョー

- ワ ナンモ シナイ ヨー。
11. 降らないだろう フラナインデ ナイ ノー。
  12. 降るにちがいない ○アメ フルカモ シレナイ ネ。
  13. 来ない ○コナイ ヨー。
  14. 来はしない ○コナイ ヨ。 (「来はしない」の言い方をしない。)
  15. 来なかった ○キヨーワ ダレモ コナカッタ ワ。
  16. 見ない (～見かけない) ①ミナカッタ ワ。 / ②ミカケナカッタ。 (稀) <提示>  
示> <現在形のところを過去形で回答された。>
  17. 居ない ①イナイ ネ。 / ②ダレモ キテ ナイ ネ。
  18. 行かずに ①イカナイデ イエニ イル。 / ②イカズニ (稀) <提示>
  19. 行かなくても ○イカナクテモ イーンデ ナイ ノ。
  20. 行かなければ ○ワザワザ イカナクツテモ ヨカッタ ノニ。
  21. 行かねば ①アシタワ ドー シテモ イッテ コナキヤ ナラン ネー。 /  
②チーサイ ノーカデモ キカエーオ ツカワンキャ ナランカラ……。 杖いざも杖  
杖なればならぬらー。 <自然会話から>
  22. 行かねばならない ○ヤツバリ イカンナラン ネ。
  23. ～ズ (ヤ・ジャ・ダ) 言わない。 ○キヨーワ ドゴモ イカナカッタ ヨ。
  24. 行きもせず、来もしない ①ワタシ イキモ シナイシ チヨット キモ シナ  
イシ……。 / ②ワタシモ イカンケド アンタモ コナイシヨ。 / ③ワタシモ イ  
カナイケド アンタモ コナイデシヨ。
  25. 行くか行かないかわからない ○イクカ イカネーカ ワカラナイ ヨ。

## II. 存在・状態・判断の否定表現

26. 無い ①コレシカ ナイケド ネ。 / ②コレダケシカ ナイ ヨ。 <提示> (「  
～シカ ネー」を言わない。)
27. 無い ○コンーナ アツイ トシワ ナイ ネ。
28. ありはしない ①コトシノ トシミテア アツイ トシワ {①アンマリ ナ  
イ ヨネ。 (多い) / ②アリワ シナイ。 <提示>}
29. 無かった ①ナカッタ ヨネ。 / ②ナカッタ ヨネ。 <提示> (「ネガッタ」を  
言わない。)
30. ありはしなかった ○コトシノ トシミテアン アツイ トシワ アンマリ {  
①ナイ ネー。 / ②ナイ ヨネー。}
31. 無いだろう ○ナイダロー ネ。
32. 無ければ ○コンナ モン ナケレバ イーノニ ネ。 (「ナケリヤ」を言わ  
ない。)

33. 暑く無い ○キョーワ アンマリ アツク ナイ ネ。
34. 暑くはない ○アツク ナイ。(「は」を言わない。)
35. 暑くなかった ○キョーワ アツク ナカッタ。
36. 暑くはなかった ○キョーワ タイテ {①アツク ナカッタ ネー。/②アツクワ ナカッタ。}
37. 暑くないだろう ○アンマリ アツク ナイヒョー。<「ナイヒョー」は「ないでしょう」の縮約形。>
38. 涼しくない ○スーシク ナイ ネー。
39. いぎやかでない ○ニギヤカデ ナイ ワー。
40. にぎやかではない ○ニギヤカデ ナイ ヨ。(「は」を言わない。)
41. にぎやかでなかった ○ニギヤカデ ナカッタ ヨ。
42. にぎやかではなかった ○ニギヤカデワ ナカッタ ヨ。(「は」を言わない。)
43. にぎやかではなからう ○ムカシノ ヨーニ ニギヤカデ ナインデ ナイ ノ。(「は」を言わない。)
44. 花ではない ○ハナデ ナイ ヨ。(「は」を言わない。)

### III. 特定の慣用句による否定(不可・禁止)表現

45. だめだ ○ムリナ コト シテモ {①ダメデ ナイ ノ。/②ダメダ ワー。} (「アカン」「イカン」を言わない。)
46. だめだ ○ダメナ シトダ ネ。(「アカン」「ツマラン」を言わない。)
47. つまらない(不可) ○ソナナ コト ユツテモ ダメナインデ ナイ ノ。(大人に向かって「ツマラン コト」などととは言えない。)
48. いけない(禁止) ○ソナナ ドコ イガナイ ホガ インデ ナイ ノ。私嫉ないけいけいのせいの? <気持ちがゆったりしたのか、東北訛りの「ドコ」「イガナイ」が聞かれた。しかし、ほんの稀なことである。>
49. 行かレン ①イカレナインデ ナイ ノー。/②イカレナインジャ ナイ ノ。<②には係助詞の「は」が入っている。したがって、全く「は」が使われないのではないことが知られる。>
50. 行くな(禁止) ①イカン ホ インデ ナイ ノ。行かないけいけいのせいの? /②イッタラ ダメダ ヨ。/③イク ナ。(男ことば) <提示>
51. するな(禁止) ○イタズラ {①シタラ ダメダ ヨ。/②スル ナ。(男ことば) <提示>}
52. 行くもんではない ○イカナイ ホガ インデ ナイ ノ。
53. たまらない ○キョーワ アツクテ {①コマル/②ヤリキレン/③カナワン<提示>/④タマラン(多い)} (「モテン」を言わない。)

54. しかたがない ○ア<sup>マ</sup> マ<sup>ツ</sup>ツ<sup>テ</sup>モ {①シカ<sup>タ</sup> ナ<sup>イ</sup>カラ イ<sup>キ</sup>マ<sup>シ</sup>ョー。  
ノ②シ<sup>ョー</sup>ガ ナ<sup>イ</sup>カラ イ<sup>コ</sup> カ。<提示>} (「シャ<sup>ー</sup>ナイ」を<sup>イ</sup>言<sup>ハ</sup>ない。)
55. 楽ではない ○ト<sup>ク</sup>マ<sup>デ</sup> アル<sup>ク</sup>ノ<sup>ワ</sup> {①ユ<sup>ル</sup>ク ナ<sup>イ</sup> ヨ。ノ②ラ<sup>ク</sup>デ  
ナ<sup>イ</sup>。<提示>}
56. 歩きたくない ○ア<sup>ツ</sup>イ<sup>カ</sup>ラ {①アル<sup>ク</sup>ノ イ<sup>ヤ</sup>ダ ヨ<sup>ネ</sup>。ノ②イ<sup>キ</sup>タ<sup>ク</sup> ナ  
イ<sup>ワ</sup>。<提示>}
57. 大丈夫だ ○シ<sup>ン</sup>バイ シ<sup>ナ</sup>ク<sup>テ</sup>モ {①ダイ<sup>ジ</sup>ョー<sup>ブ</sup>ダ ヨ。ノ②ナ<sup>ン</sup>デ<sup>モ</sup>  
ナ<sup>イ</sup> ヨ。}

#### IV. 否定の応答表現

58. いや ①イヤ。ア<sup>マ</sup> フ<sup>ラ</sup>ナ<sup>カ</sup>ッタ ヨ。ノ②ナ<sup>ン</sup>モ。フ<sup>ラ</sup>ナ<sup>カ</sup>ッタ ヨ。<提示><「ナンモ」は「いいえ」に相当する。>
59. いや(強い否定) ○イヤ<sup>イヤ</sup>。ホ<sup>ント</sup> フ<sup>ラ</sup>ナ<sup>カ</sup>ッタ ヨ。
60. いいえ ○イヤ<sup>ー</sup>。フ<sup>ラ</sup>ナ<sup>カ</sup>ッタ ヨ。<控えめな音量で、丁寧さを表した。>
61. いや(否定問いかけに対する応答) (1) {①イヤ、フ<sup>ッ</sup>タ ヨ。ノ②ア<sup>ー</sup>、  
フ<sup>ッ</sup>タ ヨ。} (2) フ<sup>ラ</sup>ナ<sup>カ</sup>ッタ ヨ。
62. どういたしまして ○イー<sup>エ</sup>。ド<sup>ー</sup> イ<sup>タ</sup>シ<sup>マ</sup>シ<sup>テ</sup>。

#### V. 不可能の表現

63. できない ○ワ<sup>タ</sup>シ<sup>ワ</sup> デ<sup>キ</sup>ナイ ヨ。 \*デ<sup>キ</sup>ル(可能の表現)
64. 読むことができない(状況) ○シ<sup>ン</sup>ア<sup>ン</sup> ヨ<sup>メ</sup>ナイ ワ<sup>ー</sup>。 \*ヨ<sup>メ</sup>ル(可能  
の表現)
65. 読むことができない(能力) ○シ<sup>ン</sup>ア<sup>ン</sup> マ<sup>ダ</sup> ヨ<sup>メ</sup>ナイ ワ<sup>ー</sup>。 \*ヨ<sup>メ</sup>ル  
(可能の表現)(「ヨー ヨマン」を<sup>イ</sup>言<sup>ハ</sup>ない。)
66. 出られない(心理的状況) ○コ<sup>ン</sup>ナ ハ<sup>デ</sup>ナ<sup>ノ</sup>ー キ<sup>テ</sup> デ<sup>ラ</sup>レ<sup>ナ</sup>イ ワ<sup>ー</sup>。
67. 食べられない ○タ<sup>ベ</sup>ラ<sup>レ</sup>ン<sup>ノ</sup>デ ナ<sup>イ</sup> ノ<sup>ー</sup>。
68. 食べることができない ○イ<sup>ソ</sup>ガ<sup>シ</sup>ク<sup>テ</sup> ヒ<sup>ル</sup>モ ユ<sup>ク</sup>リ タ<sup>ベ</sup>ト<sup>レ</sup>ン ノ<sup>サ</sup>。

#### VI. 反語・反発の強調表現

69. 知るものか ○ソ<sup>ン</sup>ナ コ<sup>ト</sup> ユ<sup>ツ</sup>テ<sup>モ</sup> {①ワ<sup>カ</sup>ラ<sup>ナ</sup>イ ワ<sup>ー</sup>。ノ②ワ<sup>カ</sup>ラ<sup>ン</sup>  
ワ<sup>ー</sup>。(男のことば)<提示>}<「知る」に替えて「分かる」を使う。>
70. 誰が行くものか ○ソ<sup>ン</sup>ナ ド<sup>コ</sup>イ ワ<sup>タ</sup>シ<sup>ワ</sup> イ<sup>カ</sup>レ<sup>ナ</sup>イ ワ<sup>ー</sup>。(友達に向か  
って「誰が」とは言えない。)
71. なんで行くか(行くものか) ○ソ<sup>ン</sup>ナ ト<sup>コ</sup> {①イ<sup>カ</sup>レ<sup>ナ</sup>イ ワ<sup>ー</sup>。ノ②イ  
ク<sup>モ</sup>ン カ。(男のことば)<提示>ノ③イ<sup>ケ</sup>ン、イ<sup>ケ</sup>ン。(男のことば)<提示

>}

72. なんて恥ずかしいものか (なんて恥ずかしからうか) ○ナンモ ハズカシー  
コト ナインダ ヨ。
73. 行かないでおるものか (行くとも) 言わない。
74. やれるか ○ソレワ アンタ デキル カエ。
75. シテイラン ○ソナンニ イヤナラ シナクデモ イー ヨ。

#### VII. 特定の副詞の関わる否定表現

76. 少しもはかどらない (少しも~ない) ①サツバリ シゴト {①ダメ。/②ス  
スマナイ ヨ。} ②チットモ ハカドラナイ。<提示>
77. ぜんぜんできていない (ぜんぜん~ない) ①セツカク タノンダノニ サツバ  
リダ ワ。(独り言を言うときに言う。但し、相手の仕事が出来ていないことを咎め  
られない。) /②マダ ナノ。(「出来ていない」とは言わない。)
78. いっこうに降らない (いっこうに~ない) ①アメ ホシケド フラナイ ネ。  
/②アメ イッコニ フラナイ ネ。<提示>/③アメ サツバリ フラナイ ネ。  
<提示>
79. あまり降らない ○アマリ フラナイ ネ。
80. (予想外に) たくさんとれた ①タクサン コトシワ トレタ ネ。/②オモッ  
タヨリ オオカッタ ネ。

#### VIII. その他否定形式の関わる諸表現

81. いいではないか ○イカナクデモ イーンデ ナイ ノ。
82. いいのではないか ○イカナクデモ イーンデ ナイ カイ。
83. いいかもしれない ○イカナクデモ {①イーンデ ナイ ノ。/②イーカモ  
シレナイ ヨ。<提示>}
84. 行かないか ○イッシヨニ イカナイ カエ。
85. くれないか ○コレ モツテ モラエナイ カエ。
86. くれませんか ①モツテ モラエマセン カ。/②コレ モツテ モラエマセン  
デシヨ カ。(他人に言うときに使う)
87. 下さいませんか ①モツテ モライマセン カ。(多い) (上品) /②モツテ  
クレマセン カ。/③モツテ クレル カイ。
88. 行かないと (~行けば) (勧誘) ①チヨット ハヤク イカント オクレタラ  
コマル ヨ。/②ハヤク イカナカッタラ オクレタラ コマル ヨ。<「イカネバ  
」を言わない。>

### Ⅲ. 総括(まとめ)

否定表現の体系的な整理や活用体系の中での否定形の位置、あるいは語用論上での否定表現のふるまい、及び否定表現の通時の研究などは、今後に成されるべき重要な研究課題であろう。

さらに、密かに考え続けてきたことではあるが、方言の方言らしさを端的に示す事実として、“方言意匠”(脚端)ということがある。これが方言社会のこととして、組織的・体系的に研究されなくてはならない。

さて、ここでは、88項目の回答について、気づきを少し記すことにする。

#### 《方言意匠》

①取り立ての「は」を使った「行きはしない」などの言い方を悉く回避して、「行かない」などの言い方を選んでいるのが注目される。話者の言語観によることなのか、地域の特色なのかは不明である。

②禁止や制止の言い方で、直接的な「行くな」「いけない」「行くものではない」などを回避して、「行かれない」「しない方がいいのではないか」「行かない方がいいのではないか」などと持ち掛ける言い方にしている。禁止や制止の基本的な意味を軌道修正する意匠性は、成熟した社会での所産なのか、あるいは位相によることなのか。

③「～くれないか」の言い方を回避して、「～もらえないか」を選んでいるのはなぜなのであろうか。恐らく「くれる」が、かつて聞き手に非好意的なニュアンスで使われたことの名残が見られるのであろう。そこで、へりくだって聞き手への感謝を表す「もらう」に替えたのであろうと考えられる。

#### 《方言文法》

④不可能の言い方は、状況可能と能力可能とに区別されてはいない。

⑤否定形の大勢は、「イカナイ、イカナカッタ」である。しかし、稀に「イカン ホインデナイ ノ。」(行かないでいいの?)や「ハヤク イカント オクレタラ…」(早く行くと遅たら)「フランカッタ」(帰らなかつた)「タバラレン」(食べられない)「タバトレン」(食べておられない)「イケン、イケン」(いや、いや)などのように、「ない」を「ん」にした例が見られる。これは話者の先先代の金沢弁が影響を与えたのではなくて、新藤津村の通常の実態がこれと同じなのであろう。

⑥西日本で盛んな助動詞の「～まい」(打消推量)は、全く行われていない。「～まい」の代わりに「～しないつもりだ」などと文脈上の意味をとって充てるようだ。共通語でも「まい」は古い感じなのか避けられてきていて、文章語本位になろうとしている。

⑦全体的に見て、当該方言の否定表現は「簡素である」ということができそうである。

(えばた よしお 広島大学教育学部)